

# 妊娠中のおかあさんへ

## RS ウイルス予防接種のご案内

### ★RS ウイルス感染症について★

新生児、乳児が RS ウイルスに感染すると、重症になり入院したり、集中治療(酸素投与や人工呼吸)が必要となったりすることがあります。

生後 6 か月未満、特に生後 1～2 か月でリスクが高いです。

入院や集中治療が必要になった乳児の 80～90%は基礎疾患がなかったと報告されています。

### <予防方法>

「アブリスボ®」という予防接種です。1回接種(筋肉注射)で実施します。

### <対象>

妊娠 24 週～36週の妊婦さん(妊娠 28～36 週の接種が望ましいとされてます)

※なお、60歳以上の方も接種対象(任意接種)になっております

### <効果>

妊娠中に接種し、母体が産生した抗体が胎盤を介しておなかの赤ちゃんに移行し、出生後の赤ちゃんの RS ウイルス感染症を予防します。

※2026年4月から、妊娠28～36週は「定期接種(全額助成)」になりました

※任意接種の場合、下記の費用がかかります。

アブリスボ:1回¥30,000

